

1. 交通事情・手段

スーダンには、日本と異なる交通ルール（車両の右側通行、赤信号でも右折可能等）や習慣（見切り発進、二重三重の左折待ち、無理な横断等）があり、交通事故も多発しているため運転の際には十分注意を払う必要があります。中心部は終日渋滞しており、道路状況も悪いため陥没や凹凸があり、未舗装道路も多いです。配車サービス「Tirhal」を除き、タクシーには料金メーターがないため、トラブルを防ぐ観点から、運転手と目的地までの料金を事前に交渉してから乗車するようにしてください。

○タクシー配車サービス「Tirhal」

タクシーを配車できるスマートフォンアプリ（Uber の類似サービス）。事前にアプリをダウンロードし、名前と電話番号の登録が必要です。利用時には、現在地と行き先を入力、ドライバーの現在地を確認できます。料金は目的地到着時に表示されます。配車後、現在地の確認のため電話がかかってくることが多いです（基本的にアラビア語）。混雑している時間帯は車両確保が難しい場合もあります。

○タクシー（流し、黄色の TAXI マークが目印）

英語が通じない運転手が多いです。空港から大使館周辺（ハルツーム 1 及び 2 地区）までの料金は、日中 350 ポンド程度、夜間 400 ポンド程度が大体の相場ですが、外国人に対しては法外な金額を要求してくる場合も多く注意が必要です。

○リキシャ（トゥクトゥク、三輪自動車タクシー）

市内の比較的短距離の移動に便利です。初乗りの相場は大使館近郊で 150 ポンド前後。なお、ハルツーム旧市街地やアフリカロードなどの幹線道路への乗り入れは通常禁止されています。メーターがないため、乗車前に目的地までの料金交渉が必要です。

○アムジャ（ワゴン型タクシー、青色の車両が多い）

小型のミニバン（日本の軽自動車サイズの車両に 8 人搭乗する）で市内を移動することが可能です。こちらも料金は事前交渉が必要です。

○バス（白色のマイクロバス型の車両が多い）

ハルツーム市民がよく利用する路線バス。バス停に印はなく、乗車距離により料金が異なります。手を挙げて停めた上で乗車し、降りる際には声を掛けるか、指を鳴らして降車の意思表示をする必要があります。

2. 電話・インターネット

○日本からスーダンへかけるとき +249 を押し 0 を抜いた番号

○スーダンから日本へかけるとき + 81 を押し 0 を抜いた番号

(1) 渡航前に準備しておく と 便利

(a) SIM フリー携帯電話

到着後の空港で SIM カードを購入し、携帯電話に差し込むことで即利用可能になります。

(b) ウイルス対策ソフト

以前当国に課されていた米国による経済制裁の影響により、Norton 等の外国製ウイルス対策ソフトを利用している場合、そのサービスを急遽打ち切られる事があるため、予め日本製のウイルス対策ソフト（ウイルスバスター等）をインストールしておく と 安心 です。

(c) VPN 登録

当地でインターネットを利用する際に、各種閲覧制限が設けられている場合があるため、VPN サービス利用の事前登録をしておく 必要 があります。セキュリティの観点から、有料サービスを購入することを推奨します。

(d) アプリケーション

iPhone 等の Apple 社製品のアプリについては、スーダン国内でダウンロードやアップデートができないものもあるため、事前にインストールしておくことを推奨します（VPN 経由の接続であれば一部ダウンロード可能）。連絡手段として、WhatsApp を利用する人が多いため、事前のダウンロードが推奨されます。

(2) 携帯電話

携帯電話の普及率は高く、全都市で利用可能です。現在大手通信会社は Zain、MTN、Sudani 等があります。通話機能を利用するためには、購入した SIM カードに事前チャージする必要があり、ショッピングモール内にある当該通信会社の支店、もしくは街角のスタンドで「利用している通信会社名とチャージしたい金額」を伝え、スクラッチカードないしクレジットを購入し、そこに記載されている番号を携帯電話に入力することで完了します。その後、携帯電話上で番号コードを入力し、必要となるデータ容量を購入します（分からない場合はお店の人に聞くと教えてもらえることが多い）。各会社で価格設定は異なりますが、Zain では 10GB（購入日から 1 ヶ月有効）を約 950 ポンドで購入できます（2021年2月現在）。

(3) インターネット (Wi-Fi)

一般的によく用いられる方法は、上記通信会社の販売する Data カードを購入し、ポケット Wi-Fi 端末や Wi-Fi ルーターにカードを挿入し、インターネット接続します。

(SIM ロック携帯電話持参の方は、ポケット Wi-Fi を持っている場合も外出時も使用可。)
Data カードも、上記 SIM カードと同様の方法にて事前チャージ・データ容量の購入が必要です。Zain では 50GB (1ヶ月有効) が約 1,700ポンドとなっています (2021年2月現在)。

基本的には 4G 通信が可能です。地方では未だ 2G や 3G 通信のみといったように、全国規模での 4G 通信網は完備されていません。また、時間帯によっては低速となり、ウェブページの閲覧が困難になることもあります。

3. 水道・電気事情

(1) 水道事情

水道設備は十分とは言えず、水道水を飲むことは体調不良や感染症の原因となりますので控えてください。歯磨きなど口に水を含む際は、ペットボトルの飲料水を使用しましょう。

当地ではトイレトペーパーを使用する文化がないため、トイレに紙を流すと水漏れや詰まりの原因になりますので、別で捨てましょう。(地方旅行をする際はトイレトペーパーの持参を推奨します。)

また、水道管の状態が悪いため、破裂等により道路上に水たまりがよく発生します。

(2) 電力事情

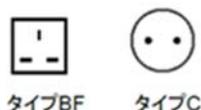
電圧は 230V (単相)、周波数は 50Hz。

電力事情は極めて悪く、一年を通じて停電が頻発しており長時間に及ぶこともあります。防災用のランプや懐中電灯を持参することがおすすめです。

また電圧高下が激しいため、精密機器の使用にあたっては、電圧安定器、無停電電源装置や変圧器を日本から持参し使用することを推奨します。

(3) コンセント

コンセントの形状が日本とは異なり、多く見かけるのは BF タイプで、C タイプも併用されています(差し込み口の形状は下図のとおり)。日本の家電製品をスーダン国内に持ち込んで使用する場合、アダプターもしくは変換プラグが必要です。



4. ハルツーム州

ハルツーム1・2地区：市街地。外国人向けアパートメントも多い。

アマラート地区：高級住宅も多く閑静な佇まい。

リヤド地区：スーパーマーケットや飲食店が多く日中は混雑する。



5. 買い物

ハルツームの商店は小規模のところが大半ですが、日常の買い物に不便はあまり感じません。一方、品揃えは豊富とは言えず、季節によって入手できる食材（特に野菜類）に限りがありますが、スーダン国産品また輸入品も入手可能です。露店やスークも盛んですが、英語が通じにくくアラビア語を必要とします。金曜日の 12:00-15:00 くらいまでは礼拝のため一時閉店することがあります。

日本食品や洋服（ファストファッションで見かけるようなもの）は、当地ではほとんど入手出来ないので、必要に応じて日本から持参してください。

6. 飲食店

ハルツーム市内では、アラブ料理、インド料理やイタリア料理などのお店からハンバーガーやピザ等のファーストフード店も多く存在しています。値段に関しては、現地人が集まるレストラン等は安価ですが、外国人向けレストラン等は、日本と同等あるいはそれ以上の予算が必要となることもあります。全てのレストランにおいてアルコール類の提供は禁止されています。注意点として、生もの（特に海鮮物・野菜等）は控え、飲料水はボトルウォーターを注文してください。煮沸したコーヒーや紅茶は問題ありません。